

5
月

May. 2025
沖縄開教本部通信
vol. 117



ハイサイ 沖縄

※「ハイサイ」…沖縄の言葉で「こんにちは」のこと

「スクガラス・豆腐よう」

沖縄県工業技術センター 豊川哲也

沖縄の食文化第3回目です。第一回は、硬くて弾力のある「島豆腐」。第二回は、柔らかくてふわふわの「ゆし豆腐」でした。第3回は…(汗)申し訳ありませんが、またしても豆腐関連です。

沖縄の居酒屋で島豆腐を注文すると…いや、もしかすると島豆腐というメニューはないかもしれない。そんな時は、スクガラス豆腐というものを注文してみてください。島豆腐の上に体長2cmほどの小魚がのったお皿が運ばれてくるはず。スクはアイゴの稚魚、カラスは塩辛という意味です。スクは、旧暦の6月から7月の大潮の日に群れをなして沿岸に押し寄せてきます。これを捕まえて塩辛にしたのがスクガラスです。このスクガラスと島豆腐の組み合わせが信じられないくらい合うんです。スクガラスの塩辛さと旨味を島豆腐の大豆がどしりと受け止めてくれるので、これだけで豆腐300gがあっという間になくなるぐらいの充実感があります。

そのスクも、沖縄近海でとれる量が減ってきていて、最近はいりピンからの輸入が大半です。それでも、スクの群れが寄ってくるのは初夏の風物詩です。また、新鮮なスクで作る酢漬けも、なかなか



スクガラス豆腐

か美味しいものです。そういえば、フィリピンでもライムやカラマンシーをかけて、同じような食べ方をするようです。台湾でも、スクの塩辛を見かけたことがあります。どうも、この塩辛の味を好む傾向はアジア全域に通用するようで、一七一九年に琉球国王の冊封にきた中国の役人も、「こまかい魚で、外見は腐ったようでも、噛みしめると味が良い」と書き残しています。

スクガラスをはじめとして、沖縄には多くの発酵食品があります。その中でも白眉といえるのが島豆腐を麹で発酵させた「豆腐よう」です。この豆腐ようは東洋の

チーズとも称され、琉球国の王子である尚順が『豆腐の礼賛』というエッセイで「豆腐ようというのは、世界的唯一と迄は行かざるも主位に列なる珍味」であると書き残しています。他にも、市販はされていませんが、「ロクジュー豆腐」や「豆腐ガラス」といった豆



豆腐よう

腐の発酵食品もあります。こちらの素晴らしさもお伝えしたかったのですが残念ながら紙面が尽きてしまいました。この話は次回へ続く…かもしれません。

記事の寄稿者

氏名…豊川哲也
所属…沖縄県工業技術センター



教化拠点

「興念寺」

報恩講

沖縄島北部・名護市にある教化拠点・興念寺で、さる二月一五日に報恩講が勤修された。現在、興念寺の運営の主となっている具志堅優己氏が導師を行い、関係者、地域の人々と共に勤められた。法話は沖縄別院の長谷輪番が「うそかまことか生きるよりどころ」

沖縄は今！

国の戦争、市民で阻止

沖縄・九州を中心に広がる、自衛隊や米軍のミサイル配備や弾薬庫設置などの軍備強化を止めようと、沖縄の平和団体と各地の地域団体が連帯し、「戦争を止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」が二月二十二日、「よかセンター鹿見島」で結成集会を開いた。去る二〇二三年十一月の「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」が主催した、

の講題で真宗とはどういう教えであるかという基本的なお話をした。一〇名ほどの参加者が話に耳を傾け、その後はお斎の場も開かれた。

興念寺は一九九八年に具志堅興吉氏によって開所され、現在はその御子息である優己氏によって運営されている。また、その次の世代も、現在九州大谷短期大学において念仏の教えを学んでおら

「11・23県民集会」をきっかけに、各地で会合を重ねネットワークづくりを進めてきた。

オンラインも含めて約五百人が参加し、共同代表には、沖縄戦遺骨収集ボランティアの代表も務める具志堅隆松さんから四人が就任した。

「台湾有事」が言い立てられる昨今、新たな戦争準備と言える状況に對峙している団体・個人が、緩やかにつながる団体であり、結

れ、今回は三世代揃ったの報恩講が開催された。今後は報恩講のみならず、法話会も開催していく予定とのことである。



長谷輪番の法話

成宣言では、「戦争の加害者にも、被害者にもなりたくない」「国家による戦争を止めます」と不戦の誓いを立てた。戦後八十年の政治や平和活動の状況に一石を投じるものである。



普天間飛行場のオスプレイ



「善悪」

アメリカ大統領にトランプ氏が就任されました。選挙にて選ばれたのだから当然、支持する方が大勢いるのでしょうか。しかし、その反面、反対派も多くいる。何故、人の考える「善悪」は異なるのか。逆に人の考える「善」で、全ての人が認める「善」はあるのでしょうか。

親鸞聖人のおっしゃる、「善悪のふたつ総じてもて存知せざるなり」ですが、この世界の秩序を守るため人の決めた善（法律）があり、それから外れた人を悪として裁く。そして、力を持つ者は自分の「善」で人々をまとめ、それに賛同出来ない者は排除していく。それは、トランプ大統領が国を纏めるための政策だけではなく、私達の身近な所、学校であり、会社であり、世界のあらゆる場所で行われている。

考え方の違いだけではなく、能力で人を選び、また容姿や国籍で人を差別する。その社会構成は弱きものにとって生きていく事が難しい世界となっている。そして弱き人々も「善悪」をもって生きている。全ての人々が平等に生きる世界とは何か、朋に歩むとはどうゆうことなのか。

我々の願いとは、如来の願いとは。沖縄にも色々な善悪がある中、これからも間思し学びつつけてまいります。

饒波 聖